

保護者様

丹波篠山市立西紀小学校
校長 安井 健二

丹波篠山市立西紀小学校 学習や生活に関する学力向上プラン

丹波篠山市学力状況調査 {5年生(国・算)} 及び丹波篠山市学習習慣状況調査 {3・4・5・6年生}、全国学力・学習状況調査 {6年生(国・算)} は、各教育委員会や各学校が児童の学力や学習状況を把握し、今後の学習指導や生活指導に役立てることを目的として実施されています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと、学年・個人によって、得意・苦手な領域は異なっていることなどを踏まえつつ、全体的な調査結果をもとに授業などの改善、学力の向上、基本的な生活習慣の定着を図るため「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しています。考察につきましては、市、全国と比較して5ポイント以上高かった項目○と低かった項目△を今年度の実施結果に基づき、要因・考察とこれからの学校のとりくみをお知らせします。また、ご家庭へのメッセージも添えていますので、一緒にとりくみを進めていくことができればうれしいです。

○国語科(5・6年生)

項目	要因・考察	これからの学校のとりくみとして	家庭では
○ 漢字を読む	・朝のモジュールや授業の帯時間を使って、漢字(基礎学力)の定着を図っている。	目標 ・ことばの充実 ・書く力の伸長 ・自分の考えを持つ 取り組み ・单元ごとに意味調べをします。 ・漢字の練習を続けます。 ・授業の最後は毎時間、めあてに沿ったふりかえりを書きます。 ・全校朝会や人権朝会では感想を伝えます。 ・日々の音読を通して、意味を考えながら読む習慣をつけます。 ・日記や作文で自分思いを伝える力をつけます。 継続的に取り組み、今後も学力の向上を図ります。	・日頃から親も子も、本や新聞など活字や文章にふれる機会をつくってください。 ・リビングやテレビの横に国語辞典を置くのもよいですね。 ・宿題に出される音読も、時には親子で楽しんでみてください。 ・大人の人や目上の人には敬語で話せるよう、日頃から声かけをお願いします ・日記や作文に目を通してください。コメントなどがあるとやる気につながると同時に親子の対話にもつながります。
○ 図、表などを用いて自分の思いを相手に伝える。	・普段の授業において、絵や図、資料などをもとに学習を進めることができている。		
△ 日常よく使われる敬語や言葉を理解している。	・日常生活の中で敬語を使う機会が少ない。 ・語彙が少ない。		
△ 文章を書く。	・自分の考えを端的にまとめることができない。 ・語彙が少ない。		
△ 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと、中心を捉える。	・学習場面や生活場面において、自分の意見を持つことを意識しながら相手の話を聞いていない。		

この力をのばして

○算数科(5・6年生)

項目	要因・考察	これからの学校のとりくみとして	家庭では
○ 図形の意味や性質について理解している。	・図形の性質や計算のきまりなど、基礎学力を身につけることを意識した学習をしている。	目標 題意を把握する力の向上 取り組み ・題意を把握するために、国語を中心に読み取る力をつけます。 ・日々の授業では「あわせて」「ちがいは」「分けると」など問題を解くためのキーワードをみつけます。 ・自分で図や表をかいて、問題を分かりやすい形にします。 ・ICTを活用します。(デジタル教科書・一人一台端末) 計算力の定着 ・計算問題は、定規を使う等、ノートに丁寧にかけます。 ・見直しをする習慣をつけます。 継続的に取り組み、今後も学力の向上を図ります。	 ・困った時は答えではなくヒントを出してあげてください。 ・日々の宿題が丁寧に正確にできているか見てあげてください。
○ ()を用いた式や加法と減法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる。	・図や絵があると題意を正確に読み取ることができる。		
△ 求め方と答えを式や言葉を用いて記述する。	・図や絵がないと題意を読み取ることが苦手である。 ・途中で複雑な問題(分数や小数)が出てくると計算をミスして誤答につながる。		
△ 図形の意味や性質について理解している。	・台形、平行四辺形、台形などの名称の間違いが多く見られた。自分のイメージで図形をとらえる傾向が見られる。		

○生活習慣・学習状況調査(3. 4. 5. 6年)

	項目	要因・考察	これからの学校のとりくみとして	家庭では
○	<ul style="list-style-type: none"> ・人が困っているときに助けている。 ・自分の生活の中で幸せな気持ちになる。 ・自分と違う意見について考えるのが楽しい。 ・地域の行事に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを中心据え、家庭・学校・地域が連携して子どもたちの成長を見守っている。 ・地域主体で子どもたちが体験できる機会をたくさん設けてくださっている。 	<p>目標</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 自己肯定感を高める </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「見守る」「認める」「励ます」ことで子どもたちの成長を応援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様のよいところや個性を見つけ、成長と一緒に喜んであげてください。
○	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は授業で間違えたところや理解していないところについて分かるまで教えていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の進度や困り感に応じたきめ細やかな支援等をしている。 		
△	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで家庭学習をしている。 		<p>目標</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 進んで学ぶ意欲を高める </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の手引き」を活用しながら、個々の興味や関心に合った学習方法を提示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間は学年×15～20分が目安です。 ・宿題は目の届くりビングのテーブルや、気持ちの落ち着ける場所がおすすめです。
△	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで読書をしている。 		<p>目標</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 読書の充実を図る </div> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会などによる読書活動の推進を図ります。 ・発達段階に合ったおすすめ本の紹介をします。(各学年の教科書の、「〇年生の本だな」「こんな本もいっしょに」など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・時には親子で読書をしてみませんか。お家の方のおすすめ本なども紹介してあげてください。